

Environmental Policy

ジャトコの環境方針

環境に配慮した商品と設備で、
「環境とクルマが共生できる社会の実現」を目指します。

環境とクルマが共生できる社会の実現

- テクノロジー…エネルギー伝達効率の高いトランスミッションの開発
- 汚染予防…環境問題の未然防止及び法令の遵守
- 資源有効活用…資源、エネルギーの使用の最小化
- 継続的改善…環境マネジメントシステムの有効性向上

グローバルな事業活動においても環境に配慮

世界の自動車メーカーに安定した商品供給を行うために、ジャトコでは生産拠点をグローバルに拡大中です。これらの生産拠点では環境への負荷を最小限に抑えるために、日本の生産拠点と同様の環境保全策を展開しながら、各拠点独自のアイデアも積極的に試行しています。また、環境マネジメントシステムの新規格「ISO14001:2015版」を、グローバル各拠点で取得しました（2019年11月に設立したジャトコ蘇州は取得に向けて推進中）。

燃費性能に優れたトランスミッションを、環境に配慮しながら生産するために、これからも環境への影響を抑えた生産を、世界の拠点で展開していきます。



2017年にジャトコ(広州)自動変速機有限公司が「ISO14001:2015版」を取得

環境とクルマのこれからの、ジャトコができること

お客さまはより環境への負荷が小さく、燃費が良い、クリーンなクルマを求めています。私たちジャトコはトランスミッション事業で培ってきた経験を生かし、走行性能と環境性能の両立を追い求めてきました。その技術や経験は、「Jatco CVT-X」「Jatco CVT-S」「Jatco CVT7」「Jatco CVT8」「Jatco CVT8 HYBRID」「JR913E」などの商品を通じて、その価値を提供しています。今後は電気自動車(EV)、燃料電池車(FCV)のような電動車両に対応するトランスミッションやe-Axleなどの革新的な技術を開発し、クルマ社会の未来に貢献してまいります。

「環境とクルマが共生できる社会の実現」を目指した私たちの「モノづくり」への挑戦は、これからもとどまることはありません。



主力商品のCVT-ATに加え、電動車両用e-Axleの研究開発も進めています